

通し番号	4 4 5 2
------	---------

分類番号	21-15-17-01
------	-------------

(成果情報名) 茶園におけるカブリダニ類の効率的な調査法
[要約] 茶園において茶害虫のカンザワハダニの天敵であるカブリダニ類の効率的な個体数調査に、ナシ園の調査で有効性が証明されたファイトトラップを用いると、摘葉調査で観察されるカブリダニ類の消長と同調する傾向を示し、樹体を傷つけることなく、効率的に調査できる。
(実施機関・部名) 神奈川県農業技術センター・北相地区事務所 連絡先042-685-0203

#### [背景・ねらい]

カンザワハダニは茶の重要害虫であり、カブリダニ類はその天敵としてよく知られている。茶園におけるカブリダニ類をカンザワハダニと関連づけて調査することは重要であるが、現在は、直接観察法、摘葉調査法等で行っているため、多大な労力がかかる。そこで、カブリダニ類の新しい調査法としてナシ園の調査で有効性が証明されたファイトトラップ法の適用性について検討を行う。

#### [成果の内容・特徴]

- 1 ファイトトラップは果樹用として、小池らにより2000年に開発されたカブリダニ類捕獲トラップで、面ファスナーに糸を絡めて作製する(図1-A~C)。
- 2 ファイトトラップを茶園で使用すると、樹体を傷つけず、かつ降雨等の気象条件の影響をほとんど受けずに効率よくカブリダニ類が捕獲できる。また、ファイトトラップを枝に設置すると葉に設置するより効率よく捕獲される(図2)。
- 3 ファイトトラップ調査で観察されるカブリダニ類の消長は、摘葉調査(50葉)で観察されたカブリダニ類の消長と同調する傾向を示し、カンザワハダニの消長とも相関する(図3)。

#### [成果の活用面・留意点]

- 1 ファイトトラップは、葉に設置した場合、整枝作業等で脱落し、回収ができなくなることがある。
- 2 ファイトトラップの平均カブリダニ類捕獲数は摘葉調査の14.5枚分に相当する。

[具体的データ]

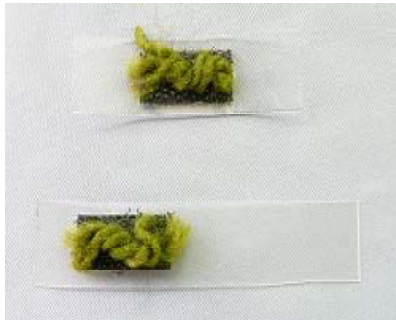


図1-A：枝(上)および葉(下)に使用したファイトトラップ°



図1-B：枝に設置したファイトトラップ°



図1-C：葉に設置したファイトトラップ°

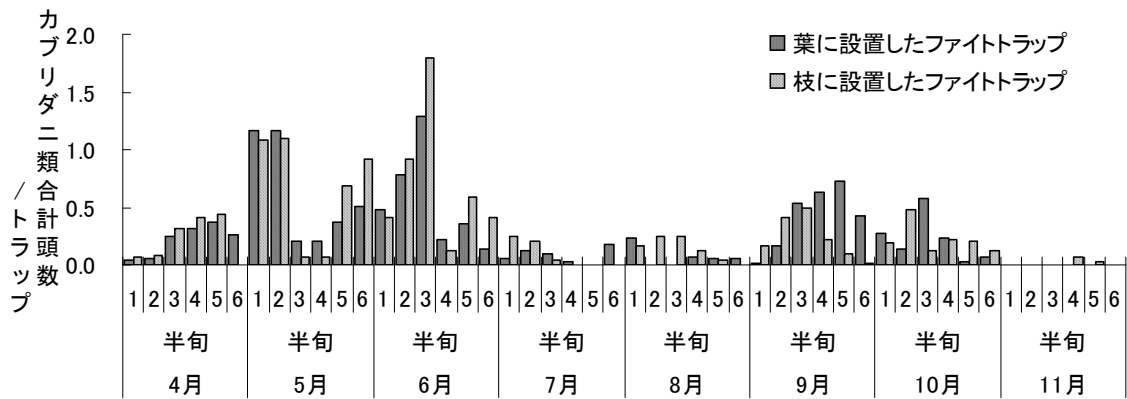


図2 カブリダニ類のファイトトラップ調査における設置位置(葉・枝)の違いによる捕獲数の比較(平成20年)

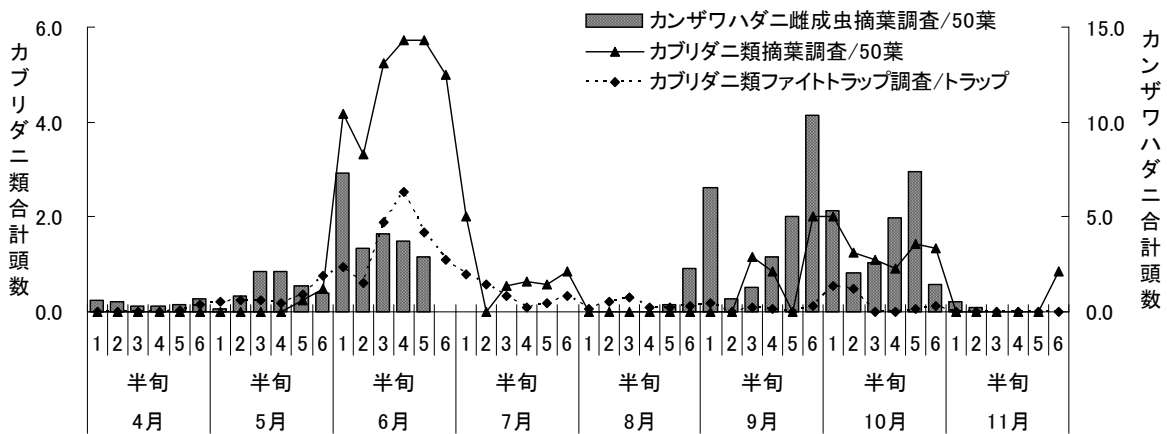


図3 慣行防除茶園におけるカブリダニ類とカンザワハダニの発生消長及びカブリダニ類の調査法の比較(平成21年)

[資料名]平成21年度神奈川県農業技術センター北相地区事務所試験成績書

[研究課題名]ファイトトラップによる天敵カブリダニ類の発生消長調査

[研究期間]平成19～21年

[研究者担当名]嶋津貴紀